

月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

※ 電話番号は4月29日から変更になります

92.4.17 No.3576



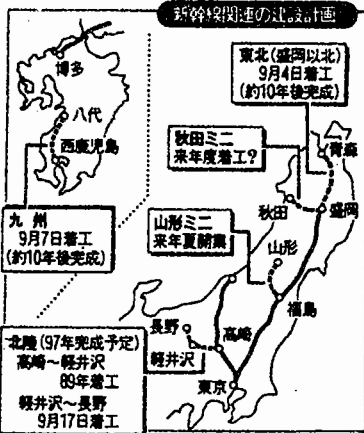
債務を尻目に 新幹線を着工

運輸省は昨年十月、「七JR会社+新幹線保有機構」として出発した分割・民営化路線をなし崩し的に軌道修正、新幹線をJR本州各社に買い取らせ、「鉄道整備基金」を発足させた。

また、九月には、二七兆円もの債務を尻目に、財源措置すら不明確のまま整備新幹線三線を着工した。またJR東日本は、一月「秋田ミニ新幹線」の事業計画を発表した。すでに着工されている「山形ミニ新幹線」は、この七月に開業を予定している。「公共企業体だったため、政治介入が国鉄を食い潰した。だから民営化する」これが分割・民営化論者の主張であったはずだ。
こんな理屈のもとに全てが

整備新幹線計画の足踏

JRは、舌の根も乾かぬうちに「第二の国鉄の道」にスタートをきったのである。秋田



正当化され、二十万人が職場を追われ、百人以上の仲間たちが自殺に追い込まれた。そして信じられないほどの無法がまかり通ったのである。
新幹線に「再選」かけ：...
ところが、政府・自民党や

赤字は明らか 何のため分・民

これらの整備新幹線計画の建設費は、一兆三千億円を越えると言われている。そして、着工された各線が、赤字経営となることは明らかなのである。このツケは一体誰に回ってくるのか。
結局何のことはない。「政治介入の排除」「累積債務の解消」などは、始めから真剣に考えられたこともなかったというのである。つまり、二十万人の首切りと国鉄労働運動潰しのための隠れみのにすぎなかったのだ。

東北新幹線 盛岡ー青森	3,873	億円
北陸 軽井沢ー長野	3,874	億円
九州 八代ー西鹿児島	4,568	億円
秋田 盛岡ー秋田	966	億円

(整備新幹線計画と建設費)

二月二〇日発表された 自民党「小沢調査会」の答申案は、今日の政府・支配階級が日本をどのような方向にもっていこうとしているのか、その「本音」をあらわすまに語っている。

「解釈改憲をこえて」
「明文改憲をも提起」

自衛隊の国連軍参加について要
点を見てみると...
現在の政府解釈

「国連軍への自衛隊の参加は
憲法九条に違反している」

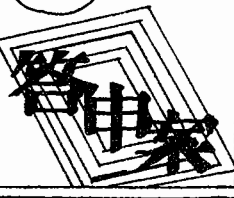
とされている。
まさに小沢調査会は、憲法が禁止している武力の行使を前提とした国連軍への参加を強調しているのである。
加えて、答申案では、米軍を主力部隊とした多国籍軍に対して、「医療」「輸送」の支援と「それを越えた人的協力」を強調しているのである。

「派兵の実績づくりには
はずみをかけた答申案」

小沢は、宮沢内閣によるPKO法案成立に「喝」を入れると同時に、法案成立を待たずして派兵準備をドンドン進めている。

憲法改憲を叫ぶ 小沢調査会

(国際社会における日本の役割に関する特別調査会)



■小沢調査会答申■

「現行解釈は妥当性を失っている」「自衛隊の任務に国際平和の維持を加える」

備をドンドン進めている。
・防衛庁はプロジェクトチームを設置、PKO要員として陸上幕僚幹部の任官二〇人を配置、
・沖縄の基地強化、演習激化をはじめ、主な「訓練」だけでも日米共同演習を含め一〇回以上におよんでいる、
など、容易ならざる情勢を迎えているのである。
求められているのは、「怒りを行動へ」である！



4.29 反戦共闘行動
首都圏統一行動へ
13時から、日本青年館